



高さ411mの綱渡り！この映画は、高所恐怖症の人には辛い映画かも知れません。

フランスに、フィリップ・プティという大道芸人がいました。彼は「綱渡りはアートである」と主張して、違法と知りながら、色んなところ、高い場所に行っては、綱渡りを繰り広げるという男でした。

そんな彼が、ある時、建築中のワールドトレードセンターに興味を抱き、なんと作業員や設計技師やマスコミを装ってビルに侵入。ワイヤーの渡し方を研究します。

そして、高さ411m、ワイヤー幅はわずか2.2cmという綱渡りに挑みます。

摩天楼の天空で繰り広げられる命がけの綱渡り。実に映画らしい映画です。

「ザ・ウォーク」は、TOHOシネマズ 六本木ヒルズにて絶賛上映中です。

▶ TOHOシネマズ 六本木ヒルズ



TOHOシネマズ 六本木ヒルズ

(2016.02.10)

最先端のVFX技術で前人未踏の世界を描く

当時世界一の高さを誇ったワールドトレードセンター。1974年8月7日、その110階の最上階、地上から411mの高さで、ツインタワーの間をワイヤーロープ1本でつなぎ、命綱なしの綱渡りに挑んだ男がいた。

その男の名は、フィリップ・プティ。

映画「ザ・ウォーク」はその自叙伝を原作に、なぜ彼はそんな危険な挑戦をしたのか、そして彼がそこで見た世界はどんなものだったのかを、最先端のVFX技術で描いている。監督は「バック・トゥ・ザ・フューチャー」シリーズや「フォレスト・ガンプ / 一期一会」の名匠、ロバート・ゼメキス。主演は「インセプション」でディカプリオの長年の相棒を演じたジョゼフ・ゴードン＝レヴィット。ぜひご覧ください。

プロフィール

映画評論家・クリエイティブディレクター。1962年東京生まれ。共著書に新潮新書「スター・ウォーズ学」。企画・構成原案・取材を担当



したWOWOW「ノンフィクションW 撮影監督ハリー三村のヒロシマ」でギャラクシー賞受賞。